※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	気づく力　築く未来　（実教出版）						
副教材等	LIFE　おとなガイド　家庭科　資料＋グラフ式成分表（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活や社会に興味を持ち、自立とは共生とは何か学んでいきましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。人の話を聞き、自分の考えをもち、多様な考え方を学ぶことで、自分の世界を広げましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、実生活に生かすことをめざします。

２　学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を身に付ける。
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考えたり実践したりするなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
・自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについての技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組むとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分らしい生き方と家族	・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族 ・家族に関する法律	a: 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて、さらには、結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できている。 b: 家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 c: 現在の社会的状況についてや、結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心をもとうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート	ワークシート ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 発表 課題提出
	子どもとかかわる	・子どもとは ・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子どもをはぐくむ ・子どものための社会福祉	a: 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 b: 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 c: 子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシー	ワークシート ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 発表
	高齢者とかかわる	・高齢社会に生きる ・高齢者を知る ・高齢者の自立を支える ・高齢社会を支えるしくみ	a: 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について、また、高齢者の生活における地域社会の役割、地域福祉の重要性について理解できている。 b:・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 c: 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート	ワークシート ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 発表

※令和４年度以降入学生用

	社会とかかわる	・支えあって生きる ・共生社会を生きる	a: 社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できている。 b: 社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 c: 生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート	ワークシート グループワーク 発表
２学期	食生活をつくる	・日本の食文化の形成 ・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理 ・これからの食生活を考える ＊調理実習4回 （9月～2月） ２～３学期にかけて４回実施予定	a: 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができている。食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解できている。 b: 自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決にむけての判断ができる。調理実習においては、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c: 自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとしている。調理実習においては、積極的に参加し、とりくもうとしている。	ワークシート 定期考査 実技テスト	ワークシート 実習レポート 振り返りシート	ワークシート 実習レポート 振り返りシート 実習記録
	衣生活をつくる	・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣服の選択から管理まで ・持続可能な衣服をつくる ・衣服の構造・デザイン	a: 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できている。材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができている。 b: 衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。 c: 基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的にとりくもうとしている。	ワークシート 定期考査 実技テスト 製作品	ワークシート 実習レポート 振り返りシート	ワークシート 実習レポート 振り返りシート 実習記録

※令和４年度以降入学生用

３学期	消費行動を考える	・消費行動と意思決定 ・消費生活の現状と課題 ・消費者の権利と責任 ・ライフスタイルと環境	a: 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 b: 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 c: 自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート	ワークシート ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 発表
	経済的に自立する	・暮らしと経済 ・将来のライフプランニング	a: 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できている。 b: 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 c: 自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート	ワークシート ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 発表
	住生活をつくる	・人間と住まい ・住まいの文化 ・住まいを計画する ・環境に配慮した快適な室内環境 ・安全な住まい ・持続可能な住まいづくり	a: 住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 b: 暮らしやすい住まいについて、住空間だけでなく、周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。 c: 住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート	ワークシート ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 発表 課題提出

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度